県内最大部数の上毛新聞
スポーツ情報 待ってます
身近な大会の結果、選手・チームの話題など。
FAX 027・254・9924　高い会社 ☎ 027・254・9933
Eメール sports@jomo-news.co.jp

2002年 4月2日 火曜日

上毛スポーツ JOMO SPORTS NEWS

SPORTS 大好き

意な種目はクロールで、反対に苦手なのは飛び込みです。もっと練習を頑張ってうまくなりたいと思います。

水泳　笛木　千草さん（桐生東小3年）

去年から既に一緒にスイミングスクールに通っています。練習は楽しいけど、今は友だちもさそえば楽しいです。頑

温泉パワーで J狙う

草津よいとこ 薬の温泉

誕生 ザスパ草津

GK小島ら元J戦士12人

参考「上毛かるた」初版

足場につかる選手監督（右）と賀持強化担当。選手にとっても、試合や練習が疲れを取るには最高の環境だ

小島伸幸

湯の町、草津町にJリーグを目指すチームが誕生した。県1部リーグのザスパ草津。「ザスパ」は「THE SPA」で温泉の意。前身の「リエンツ草津」から改名して今季、新たなスタートを切る。

チームの元Jリーガーは新加入の11人を含めて12人。監督に就任した元鳥栖の奥野僚右は「今季は全国の出場と県1部リーグ優勝を目標にしたい」と意気込む。

1995年、地元のサッカー専門学校がチームとして結成。廃校後もクラブチームで活動してきたチームが今年、Jに元日本代表の小林出場と県1部リーグ優勝を目指す豪華な顔ぶれ。奥野もDFとしてピッチに立つつもりだ。

大阪前田社長の大西忠生、総監督には市原、山形で監督を務めた橋本繁晴、コーチ兼GKに元日本代表の小野伸幸と豪華な顔ぶれ。奥野もDFとしてピッチに立つつもりだ。

バックアップは草津温泉旅館協同組合。寮で生活する選手は全員、朝からそれぞれ旅館で働き、午後をサッカーの練習に充てる。

同組合の黒岩裕喜専理事長代理は「選手の働き場所を確保するのに苦労した。昨年暮れからは、年賀状の作成と雇用面の優遇。できることで支えたい」と温かく見守る。ユニホームには「草津温泉」のロゴのほかに選手が働く旅館の名前が入る予定だ。

大手食薬数社も手を差し伸べている。だが「あくまでメーンは地元」と賀持宏強調。これは「可成り手が出ない」と話す奥野も強く意識している部分である。

県一部から関東2部、同1部、JFL、J2…。順調に勝ち上がってもJ昇格は最短で4年後。熟慮を重ねて大役を引き受けた奥野は「夢で感情が動いた時、そうだと思う」。開幕戦は7日。大志を抱いて集まった男たちの戦いがいよいよ始まる。

◎ザスパ草津の元Ｊリーガー

GK	小島　伸幸（平塚―福岡）
DF	奥野　僚右（鹿島―川崎Ｆ―広島）
	小田島隆幸（山形）
	小沢慶二郎（甲府）
	赤星　誠一（大分）
	籾谷　真弘（Ｃ大阪）
MF	中村　健太（鳥栖）
	生方　繁（新潟）
	小林　浩孝（市原）
	高須　洋平（水戸）
	浦本　雅志（福岡）
FW	宮川　大輔（Ｃ大阪）

（注）赤星以外が新加入。奥野は監督、小島はコーチ、小田島はコーチ補佐兼任

動く広告塔に期待

中沢敬町長の話　ポスターやパンフレットと違い、動く広告塔としての役割を期待している。特に今年はワールドカップイヤーということで、国民にサッカーへの関心が高まっている。温泉とスキーという草津の二大看板にサッカーも加われば、さらなる誘客が望める。町としてもグラウンドの提供など全面的に応援していきたい。

県選抜少年学童野球 8強決まる

第57回県選抜少年学童軟式野球大会第5日は1日、前橋・県営敷島球場で2回戦4試合を行い、8強がそろった。第1試合は沼尾ファイターズ（勢多）が4―3で全一ノ宮（邑楽）の投手戦を制し、第4試合のリトル清里（前橋）―原市ストロングス（邑楽）戦は、清里が9―2で五回コールド勝ちした。同大会は3日に再開、同球場で準々決勝4試合を行う。

関連記事 21面

大泉ジュニアキング―沼尾ファイターズ　3回裏2死走者なし。ランニング本塁打で生還する石田真（沼尾）。捕手津久井（大泉）＝県営敷島

堅守 沼尾

投手戦制す

▽9回戦
大泉ジュニアキング（邑楽）
0000000X1
沼尾ファイターズ（勢多）
㊐：沼尾（三回に石田真）

ファイターズ（勢多）が1―0で大泉ジュニアキング（邑楽）との投手戦を制し、第4試合のリトル清里（前橋）―原市ストロングス（邑楽）戦は、清里が9―2で五回コールド勝ちした。同大会は3日に再開、同球場で準々決勝4試合を行う。

関連記事 21面

ランニング本塁打が決勝点

○…沼尾をベスト8に導いたのは、三回に飛び出た一番石田真規の一発だった。

沼尾は、二回まで大泉、田原の前に5三振。しかし、三回の攻撃前に石田守監督が「好球必打」を指示。それに応えるように、石田真が初球をフルスイング、右翼線にぐんぐん伸びた球は石翼野中の頭を越え、転々とした。そこから石田真の真骨頂だった。100メートル14秒8、勢多郡ナンバーワンといわれる快足を飛ばして、二塁を回ると大きなストライドでさらに加速、打球の行方も見ずに一気に本塁へ滑り込んだ。一走っていて待ちかねたった、という会心の本塁打だった。

ショートを守る石田は守備でもみせた。七回表、大三回の攻撃前に石田守監督が「好球必打」を指示。それに応えるように、石田真へダイレクトスロー。間一髪でアウトに仕留めた。「ざまようはいいプレーで盛り上げられた」と晴れやかに振り返った。

投手は左腕から繰り出す石井者への内角球を有効に使い、2度のスクイズを外すなど冷静な投球。左翼小田原、二塁手徐らの好守も光り、大泉打線を3安打1四球で完封した。

大泉は、先発岡が沼尾打の石越ランニング本塁打で先制。この1点をエース石田守が打たせて取るかみなピッチングで守りきった。

石田